

## 所内学術講演、セミナー、研究懇話会、ワークショップリスト

### 所内学術講演およびセミナー

(2016年4月1日-2017年3月31日)

下記の口頭発表（日付順）が研究所内外の研究者によって放影研広島研究所で行われた。

**高橋 亮** 京都産業大学総合生命科学部生命資源環境学科助教授、「変異生成と転写制御をめぐると二題」4月19日

**田邊 修** 東北大学東北メディカル・メガバンク機構ゲノム解析部門教授、「東北メディカル・メガバンク計画における多層的オミックス解析」4月21日

**Theis Lange** デンマーク コペンハーゲン大学 生物統計学部 准教授、北京大学 統計科学センター 客員教授、1日統計ショートコース、演題「応用媒介解析」4月26日

**Benjamin C. French** 放射線影響研究所統計部副主任研究員、第297回広島統計談話会、演題「生起事象の連続特性に対する時間依存的予測精度」5月13日

**王 文傑** 広島大学大学院社会科学科特任助教、第298回広島統計談話会、演題「多くの弱い操作変数でのブートストラップおよびサブサンプリング推測」6月10日

**内村 有邦** 大阪大学大学院生命機能研究科心生物学研究室助教、「マウス生殖系列の突然変異の解析ー変異発生のメカニズムから将来世代への影響まで」6月23日

**田栗 正隆** 横浜市立大学医学研究科臨床統計学准教授、「中間変数が複数存在する場合の直接効果・間接効果とその評価」7月5日

**坂巻 顕太郎** 横浜市立大学医学研究科臨床統計学助教、「p値の過去・現在・未来」7月5日

**Jiang Hu** 中国東北師範大学助教授、第299回広島統計談話会、演題「高次元ベクトルの正準相関係数」7月15日

**堀越 信夫** ワイルコーネル医科大学ヒューストンメソジスト研究所放射線腫瘍科助教授、「DNA二本鎖切断の修復における局所的ヒストンH4リジン16のアセチル化の役割」7月27日

**中島 栄二** 放射線影響研究所統計部 研究員、第300回広島統計談話会、演題「区分的指数モデルによる死亡加速時間の推定：寿命調査の全固形がん死亡率データ1950-2003への応用」9月16日

**John Duncan Mathews** メルボルン大学人口と国際保健学部教授、「画像診断による低線量放射線被曝後のがんリスク」10月11日

**William J. Schull** 元放影研理事、「放影研の疫学研究はどのように確立されたか」11月6日

森川 耕輔 大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程学生、第300回広島統計談話会、演題「無視不可能な無回答データに対するセミパラメトリック適応的推定量について」11月25日

古川 恭治 放射線影響研究所統計部副主任研究員、第301回広島統計談話会、演題「許容曝露レベル評価のためのセミパラメトリック線量反応モデル」1月20日

星 友矩 長崎大学熱帯医学研究所生態疫学分野特任研究員、「アフリカにおける感染症疫学および日本における蚊の生態学に関するデータ解析について」2月27日

## 放影研研究懇話会

(2016年4月1日 - 2017年3月31日)

放影研研究懇話会（コロキウム）は、正式なセミナーではなく、主として現在進行中あるいは予備的研究について発表し、所内研究者からの建設的意見を得ることを目的とする。

今泉美彩、長崎臨床研究部主任研究員、演題「AHSにおける甲状腺研究」4月15日

坂田 律、疫学部主任研究員、定金敦子、疫学部病理学研究室長代理、歌田真依、疫学部研究員、演題「LSS がん罹患リスク 1958-2009 -上部消化管・肝・および子宮について-」5月20日

ハリー M. カリングス、統計部長、キズメット A. コルドバ、統計部研究員、演題「寿命調査がんデータにおける中性子の生物効果比についてなにか情報があるのだろうか?」7月26日

吉田健吾、分子生物科学部研究員、三角宗近、統計部研究員、演題「原爆被爆者における造血細胞恒常性の指標としての赤血球粒度分布幅」9月30日

児玉和紀、主席研究員、演題「生物試料ならびにデータベースを用いた共同研究の機会について-放影研将来構想-」12月16日

## ワークショップ

(2016年1月-2017年1月)

### 1. 放影研の若手研究員と国際放射線防護委員会（ICRP）研究者との交流セミナー

日時：2016年10月8日

場所：放影研広島研究所 講堂

#### Guest Presentations (プレゼン順) :

Werner Rühm (ドイツ研究センターヘルムホルツ協会)

「タスクグループ 91 の活動」

伴 信彦 (原子力規制委員会、日本)

「タスクグループ 102 の活動」

兒玉 光雄（被爆者）  
「放射線と闘う至近距離被爆者・命の記録」

**RERF Presentations:**

定金 敦子（広島疫学部病理学研究室 室長代理）  
「原爆放射線のリスク推定解析に対する医用放射線被曝の影響」

坂田 律（広島疫学部 主任研究員）  
「広島・長崎両市の黒い雨の健康影響」

高橋 郁乃（広島臨床研究部臨床検査科 副主任研究員）  
「原爆被爆者の心疾患による死亡率」

今泉 美彩（長崎臨床研究部 放射線科長）  
「原爆被爆者の甲状腺結節」

古川 恭治（統計部 副主任研究員）  
「原爆被爆者の放射線リスク評価における統計手法の開発」

濱崎 幹也（分子生物科学部細胞遺伝学研究室 研究員）  
「胎仔照射と放射線リスク：照射時期に依存した永久的な細胞遺伝的損傷」

**Other Guest Participants:**

Jacques Locharde（放射線防護原子力安全研究所、フランス）

Christopher Clement（国際放射線防護委員会、カナダ）

荻野 晴之（国際放射線防護委員会、カナダ）

Trent Peerla-Proulx（国際放射線防護委員会、カナダ）

Gayle Woloschak（ノースウェスタン大学、アメリカ）

Dominique Laurier（放射線防護原子力安全研究所、フランス）

Ludovic Vaillant（原子力防護評価センター、フランス）

Roy E. Shore（ニューヨーク大学、アメリカ）

Tamara Azizova（南ウラル生物物理学研究所、ロシア）

Anna Denisova（南ウラル生物物理学研究所、ロシア）

Wei Zhang（公衆衛生庁、イギリス）

Linda Walsh（連邦放射線防護局、ドイツ）

Mark P. Little（国立衛生研究所、アメリカ）

甲斐 倫明（大分県立看護科学大学、日本）

浜田 信行（電力中央研究所、日本）

**2. 放射線の健康リスクと放射線防護システムに関する放影研-ICRP 共同ワークショップ**

日 時：2016年10月9日

場 所：東京大学

**Guest Presentations**（プレゼン順）

Werner Rühm（ドイツ研究センターヘルムホルツ協会）  
「DDREF に関する ICRP の現在の方針」

Tamara Azizova（南ウラル生物物理学研究所、ロシア）  
「マヤック（Mayak）作業者の循環器疾患」

伴信彦（原子力規制委員会、日本）  
「放射線防護の将来」

***RERF Presentations:***

中村 典（分子生物科学部 顧問）  
「放射線 がマウスとヒトに及ぼす遺伝的影響」

Eric Grant（主席研究員）  
「原爆被爆者における固形がんの線量反応」

小笹 晃太郎（疫学部長）  
「原爆被爆者のがん以外の疾患に関する現在の研究」

Robert Ullrich（副理事長兼研究担当理事）  
「放影研の放射線研究の将来」

***Guest Participants (Random order):***

Christopher Clement（国際放射線防護委員会、カナダ）

島田義也（放射線医学総合研究所、日本）

Ludovic Vaillant（原子力防護評価センター、フランス）

甲斐 倫明（大分県立看護科学大学、日本）

Mark P. Little（国立衛生研究所、アメリカ）